広報向日市
No.186
昭和53年9月1日
◎発行　向日市役所（京都府向日市寺戸町中野20）
◎編集　広報広聴課　◎電話　075(931)1111

まちのうごき

（8月1日現在）		（7月中）	
世帯数	14,956世帯	生れた人	94人
人口	50,200人	亡くなった人	11人
男	24,923人	転入した人	389人
女	25,277人	転出した人	313人

台風に備えよう

夏から秋にかけては台風のシーズンです。

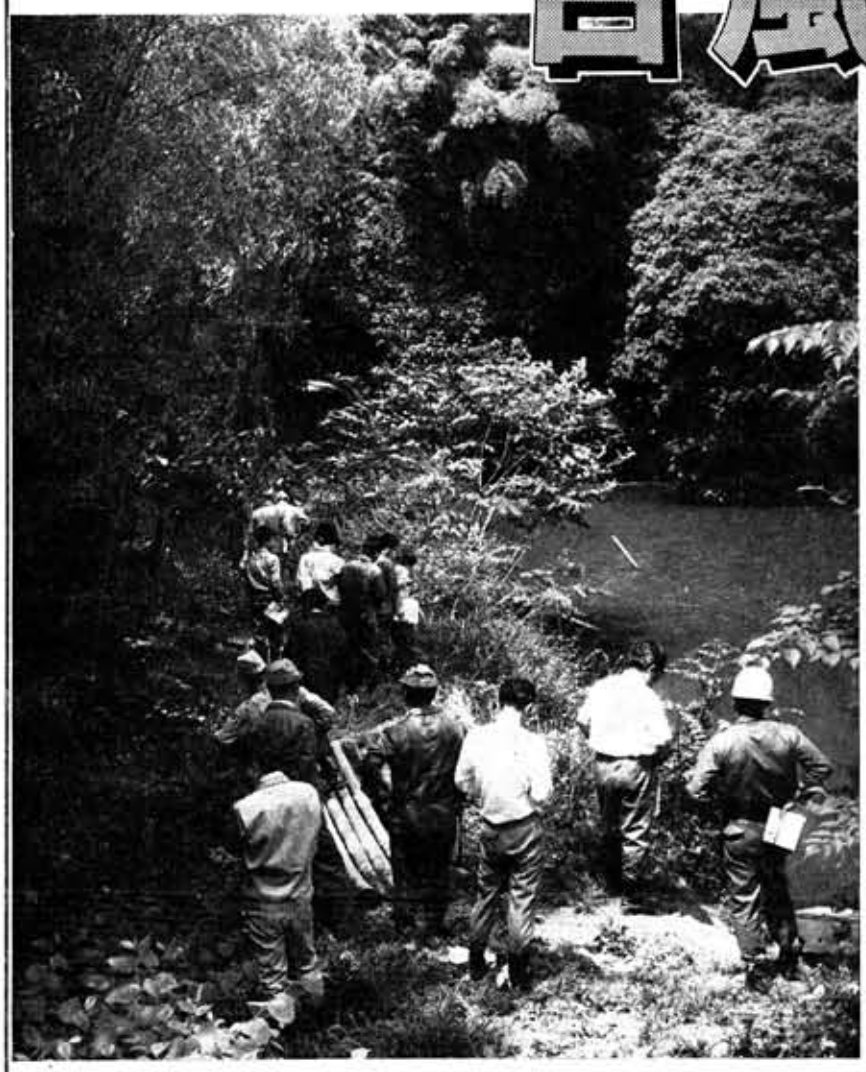
わが国は、台風の〝通路〟にあたり、毎年多くの被害が出ており「台風王国日本」というようなありがたくない代名詞もついているほどです。

台風は年間約三十個ほど発生しています。そのなかでも、八月・九月の二カ月間は平均十一個と最も多く発生しています

幸い向日市は台風の大きな被害を受けたことはありませんが、〝天災は忘れたころにやってくる〟ということわざがあるようにいつ私たちを襲ってくるかわかりません。

この機会に台風についての知識を身につけておきましょう。

毎年、防災パトロールを行い、危険箇所をチェック



日ごろから万全の対策を

台風

熱帯地方に発生する低気圧を、熱帯低気圧というがそのうちで、特に強いものを、広い意味で台風という

台風はその発生地方によっていろいろの名がついていて、大西洋西部に発達しアメリカを襲うものはハリケーン、インド洋に発生するものはサイクロン、オーストラリア西海岸のものはウイリ・ウイリーズと呼ばれている。

日本では、東経一八〇度以西の北太平洋と南シナ海に発生する熱帯低気圧のなかで、中心付近の最大風速が三四ノット、すなわち毎秒一七メートル以上のものを台風と呼び、それ未満のものを弱い熱帯低気圧と呼んでいる。

台風による災害の主なものは、風による災害、雨による災害、そして高潮による災害です。

台風の中には雨が多く降るが比較的風の弱い「雨台風」とよばれるものと、雨は少ないが風の強い「風台風」とよばれるものがありますが、一般的に、台風には雨と風がつきものです。高潮による災害は、すべての台風がもたらすとは限りませんが、いったんおきると大きな災害になる恐れが強く、台風のとき忘れてはならないものです。

◆風による災害◆

台風の強い風が建物がこわれたりするのは、風がものをおす力、つまり、風圧によるものです。風圧は風速の二乗に比例して強くなるといわれています。

すなわち、風速が二倍になれば風圧は四倍になるわけです。また、風速10メートルの風が吹くと1㎡あたり12kgの圧力がかかります10メートルの風でかさがこわれるのは、かさの上に12kgもの物をのせたと同じになるためです。

◆雨による災害◆

一個の台風が日本の陸上に降らす雨の総量は何百億トンにも達するといわれています。

台風は非常に広い範囲に大雨を降らせますが、地域によって雨の量や雨の強さは一様ではありません。ごくせまい範囲に集中的に雨を降らせることもありますこの集中豪雨は山くずれやがけくずれ、浸水被害など台風の災害をいっそう大きなものにします。

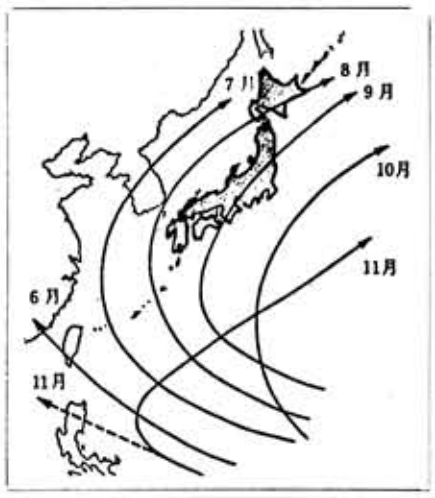
◆万全の対策を◆

台風のもっているエネルギーの大きさは、私たちの想像を絶するほどに大きなものです。実際に被害を及ぼすのは、そのうちの数パーセントにすぎないとしても、私たちに大きな被害を及ぼします。

このはかりしれない台風災害も、私たちの工夫と努力である程度防ぐことができます。防災の知識と万全な備えがあれば、被害を最少限にくい止めることができるからです。

ふだんから家の中やまわりをみて、台風の被害を受けやすいもの、場所などに眼を注ぎ、弱いところは補強するなど万全の対策をたてておきましょう。

台風進路の季節変化



台風が近づいてきたら

台風情報に注意

台風から財産や身を守るためには、いま近づいている台風の位置、進路、強さなどをまず知ることです。

台風はちょっとしたコースや強さのちがいで、被害のおこり方が大きく変ってきます。ラジオやテレビなどで新しい台風情報をききその内容に応じた対策をたてましょう。

家の内外の備え

◇雨戸は一枚でもはがれると、家全体が大きな被害を受けます。雨戸はしっかりしめて、外から板などでくぎ付けしましょう

◇煙突、テレビのアンテナ看板、ヘイなどは、がんじょうなところに針金などでしばり付け、固定しましょう。

◇窓ガラスはビニールテープなどをはっておきましょう。台風がおそってきたらカーテンを引きましょう。

◇下水や排水溝はつまっていませんか。掃除して水はけをよくしましょう。

非常用品の準備

◇停電にそなえて、懐中電灯、ろうそく、トランジスターラジオなどを用意しましょう。

◇貯金通帳や印鑑などの貴重品はまとめておきましょう。

◇にぎりめし、かんづめ、ビスケットなどの非常食を。赤ちゃんのいる家庭ではミルクも忘れずに。

◇消毒薬、キズ薬、ガーゼなどの救急薬品も用意しておきましょう。

◇蓄がえの下着はぬれないようにビニールなどにつつんでおきましょう。

第2回「乙訓健康教室特別講座」のご案内

家庭に、地域に「健康な生活」をつくりあげるため、下記の要領で「乙訓健康教室・特別講座」を開きます。

▷とき　9月20日（水）～11月29日（水）の毎週水曜日　午後1時30分～4時
▷ところ　京都信用金庫向日支店〝コミュニティホール〟
▷定員　30名（定員に達ししだい締切り）
▷費用　無料　ただし、教材費（包帯・三角巾など）として500円程度いただくこともあります。
▷その他　受講者は11日間20課目の受講を原則とする。
▷申込み　9月6日（水）までに市保健予防課へ直接申込んでください。電話・ハガキでの申込みは不可。
▷お問い合わせ　市保健予防課　内線２３３

―ご参加下さい―

月　日	プログラム	月　日	プログラム
9月20日	開講式・高血圧と動脈硬化・がんのはなし	11月1日	環境と健康・上手な医者のかかり方
27日	発疹をともなう子供の病気・急な腹痛	8日	ねたきり老人の問題・日本の医療制度とその問題点
10月4日	腰痛・受胎調節について	15日	医師にかかるまでの応急処置（内科・小児科）
11日	視力のはなし・めまい	22日	医師にかかるまでの応急処置（外科）・救急蘇生法の実習
18日	皮膚とアレルギー・性病	29日	懇談会・閉講式
25日	ストレスによって起る病気・虫歯の予防	くわしくは保健予防課まで　（内線233）	